

# モバイル網固定電話作業班（第1回） 事業者ヒアリング

2025年9月30日  
ソフトバンク株式会社

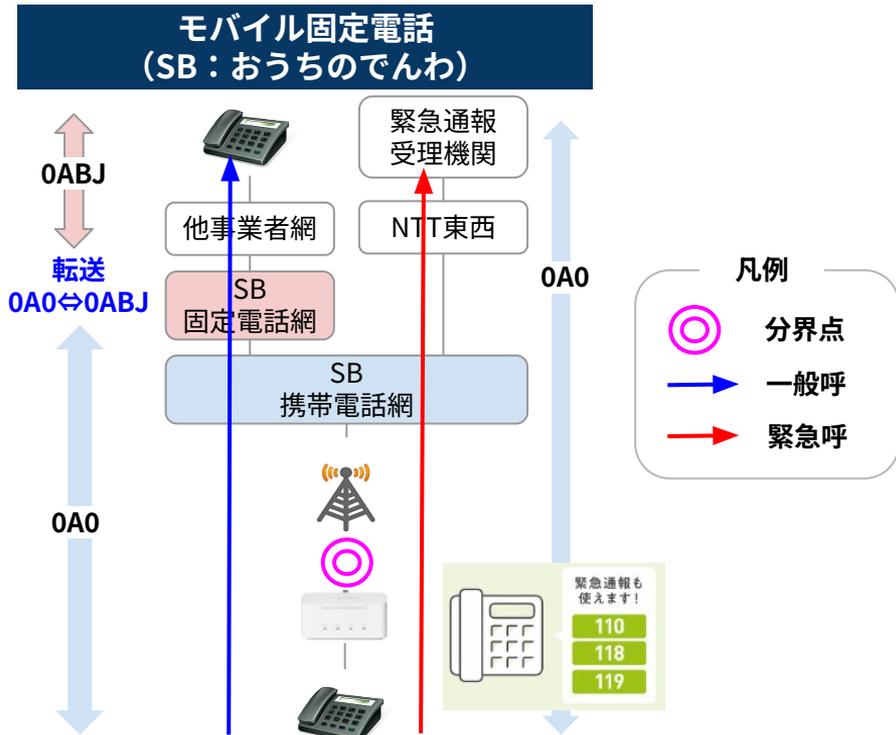
 SoftBank

既存の携帯網と固定網を活用し、**電話転送役務**を利用した低価格のモバイル固定電話サービスとなり、ワイヤレス固定電話とは制度面・設備設計から異なるサービスとなります。

※制度上は電話転送役務のため緊急通報対応は不要だが、利便性向上のため**携帯電話として緊急通報接続**にも対応

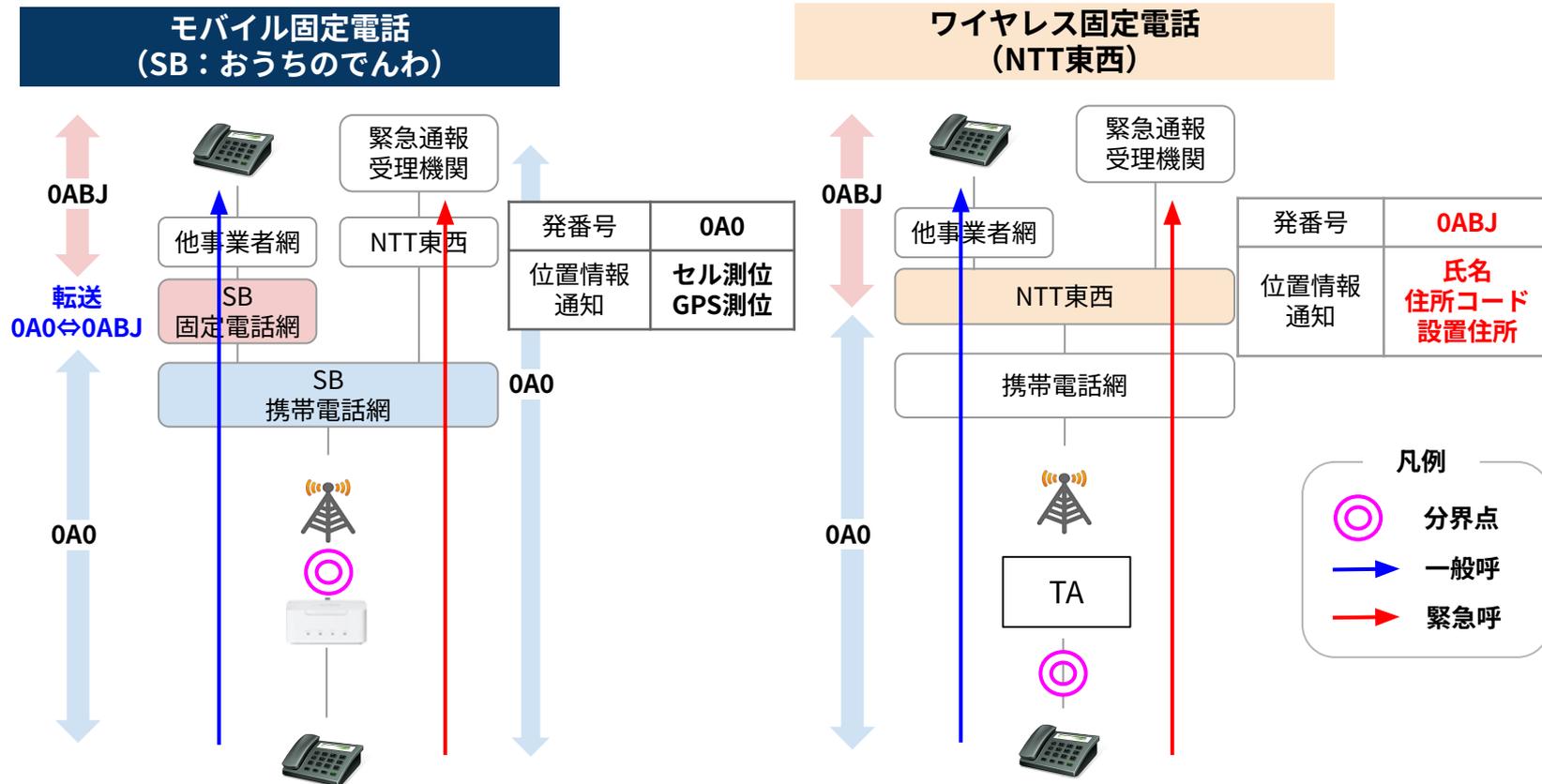


提供開始日	2017年7月～
提供エリア	全国 ※携帯・固定電話の提供エリア

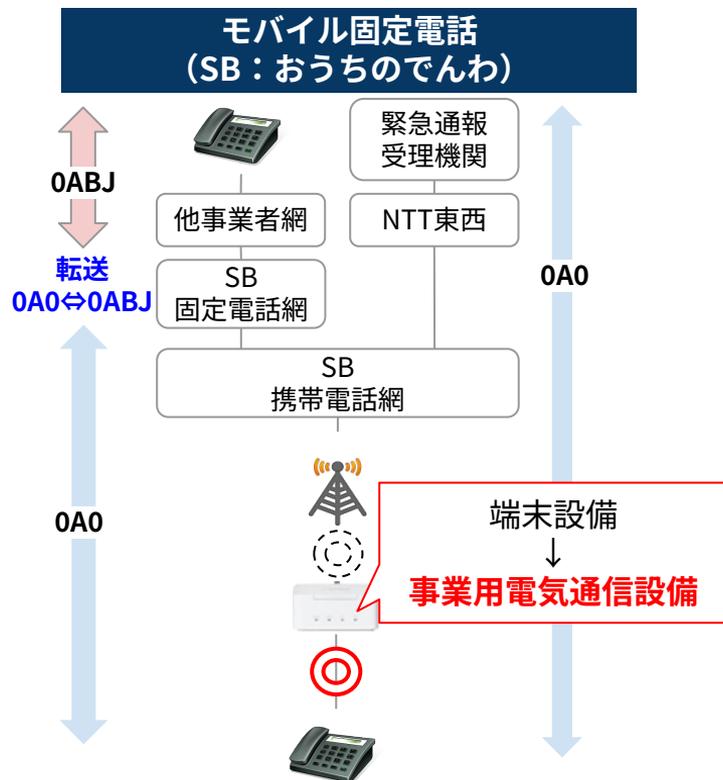


# モバイル固定電話とワイヤレス固定電話の構成差分

緊急通報接続（位置情報通知）、事業者とお客様の分界点に差分があります。



うちのでんわユニットは端末設備としており、事業用電気通信設備となった場合、**携帯電話役務としての端末設備がなくなる**ことから制度面への影響があると考えます。



## 電気通信番号計画

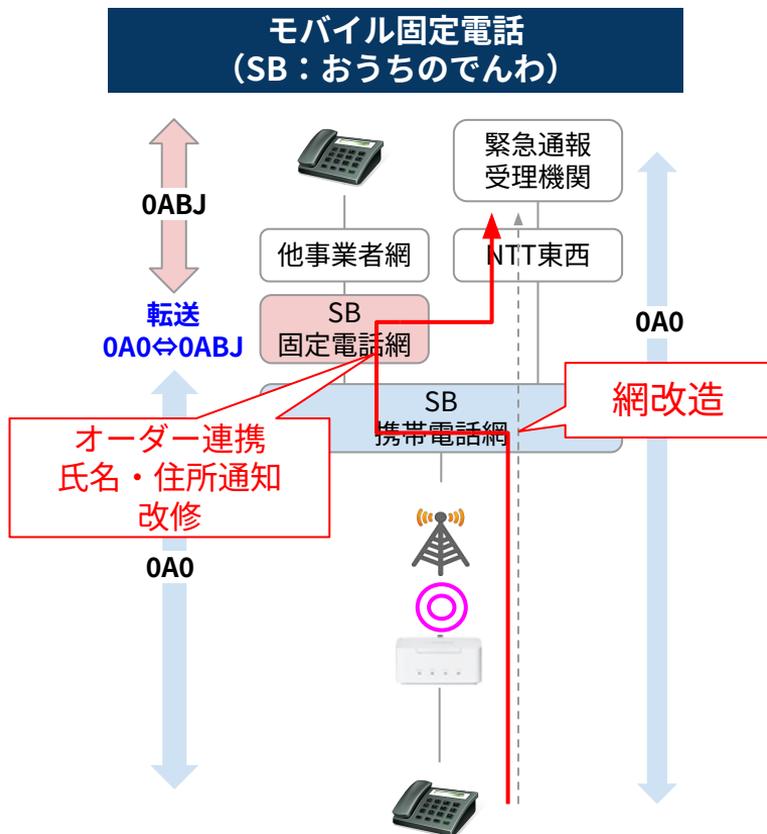
音声伝送携帯電話番号

携帯電話又はPHSに係る役務（いずれも主としてデータ伝送役務の用に供するものを除く。）に係る**端末系伝送路設備及び当該設備に接続される利用者の端末設備等（移動する無線局の無線設備であるものに限る。）**

項目	モバイル固定電話 (うちのでんわ)	ワイヤレス固定電話
設備	端末設備	事業用電気通信設備
所有者	利用者	事業者
設置	利用者	事業者
技術基準	技適認定	電気通信事業法 施行規則に適合
工事担任者制度	不要	要

おうちのでんわは転送役務における既存の携帯・0ABJ-IP電話の組み合わせでの品質提供しており  
ワイヤレス固定電話と同様基準とするには根本的な設計から見直す必要があり実現困難です。

項目	モバイル固定電話（おうちのでんわ）		ワイヤレス固定電話
	携帯電話区間	0ABJ-IP区間	
接続品質	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動接続遅延時間が3秒以上となる確率0.01以下</li> <li>呼損率0.15以下</li> <li>接続遅延30秒以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動接続遅延時間が3秒以上となる確率0.01以下</li> <li>呼損率0.15以下</li> <li>接続遅延30秒以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動接続遅延時間が3秒以上となる確率0.01以下</li> <li>呼損率0.15以下</li> <li>接続遅延30秒以下</li> </ul>
総合品質	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準を自ら定め維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均遅延150ミリ秒未満（95%値）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均遅延400ミリ秒未満（95%値）</li> <li>平均遅延350ミリ秒未満（平均値）</li> <li>POLQA値3.6超（95%値）</li> </ul>
NW品質	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>UNI-UNI間：（95%値）</li> <li>平均遅延70ミリ秒以下</li> <li>揺らぎ20ミリ秒以下</li> <li>パケット損失率0.5%未満</li> </ul>	—
安定品質	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ電話と同等の安定性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ電話と同等の安定性</li> </ul>

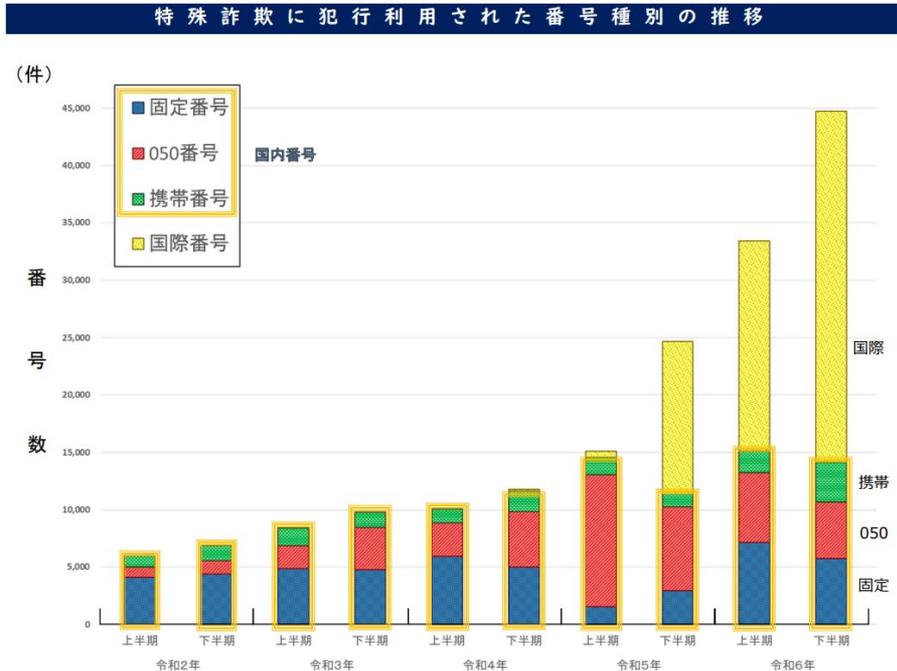
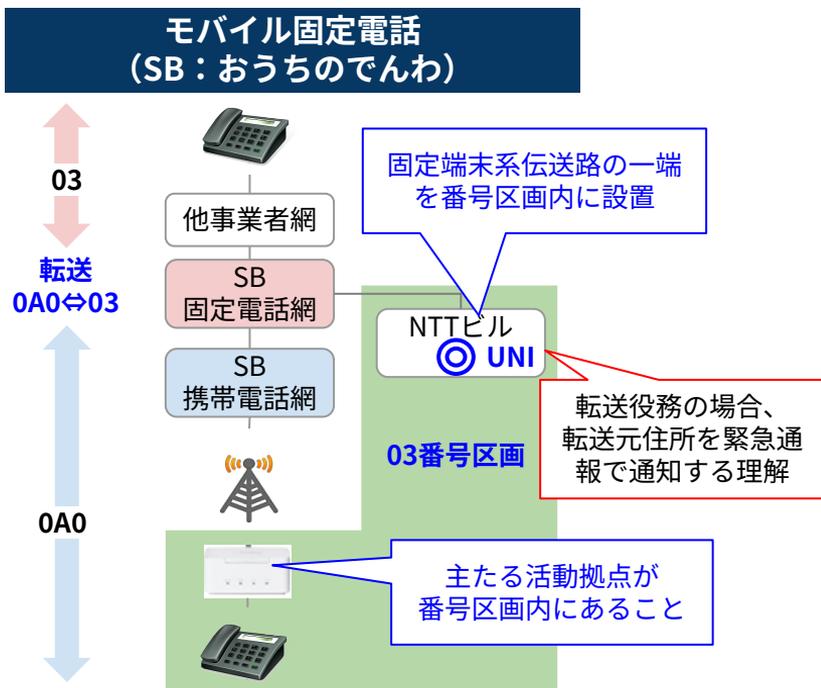


弊社モバイル固定電話（おうちのでんわ）の位置情報通知をワイヤレス固定電話と同様とする場合は以下の開発が必要となり**大幅な追加投資と開発期間**が必要となります。

- 固定網へルーティングする網改造
- オーダー連携
- 氏名、住所通知機能の改修

項目	モバイル固定電話 (おうちのでんわ)	ワイヤレス固定電話
発番号	0A0	0ABJ
位置情報通知	基地局セル測位 端末GPS測位	氏名 住所コード 設置場所住所

電話転送役務では番号区画内に設備の一端を置く形を取り、地理的識別の信頼性を維持しています。  
 本ご提案は**固定電話番号の入手が容易になり特殊詐欺などの悪用につながる恐れ**があることから、見直しについては慎重に議論すべきだと考えます。また、**固定電話の緊急通報はUNIの登録住所を通知**する必要があることから、**モバイル網固定電話については携帯電話番号で対応**しており、この点も含めて検討が必要と考えます。



出典 第39回電気通信番号政策委員会 警察庁資料

- おうちのでんわサービスは2017年7月のサービス提供開始から8年経過しており、**お客様から料金面、品質においてご理解を頂いているものと認識しております。**
- おうちのでんわ（モバイル固定電話）をユニバーサルサービスに位置づける場合は、以下より**現行サービスの技術仕様がそのまま継続できることを要望**します。
  - 技術的に対応困難な基準があること
  - 対応可能な機能についても開発等が必要となり、相当の開発期間およびコストが生じること
  - 一定規模のコストが生じる場合、利用料金の低廉性維持が困難となる可能性があること
- モバイル網固定電話の技術基準が現行サービスの技術基準より厳しい規定とする場合は、以下を**事業者で選択できることを要望**します。
  - 現行サービスをモバイル網固定電話の基準を満たすサービスとする
  - モバイル網固定電話以外のサービスとして継続する
- 固定端末系伝送路設備の設置に係る見直しは、固定電話番号を利用した電話転送役務において、**固定電話番号の容易な入手、特殊詐欺等の悪用に影響**に繋がる可能性があることから、**見直し（緩和）は慎重に進めるべき**であると考えます。

# End of File